

Surface ペンの使い方（教材に手書き入力する）

* Office（PPT、Word）や、PDF 教材に、ペンを使い手書きする手順を示します。

◆Surface ペンの操作概要

- 1) マウスと同じような機能として使えます。
 - ・タップしたままドラッグすると、マウスと同様、ファイルや文字列を範囲指定できます。
 - ・画面上で長く押すと、「」が現れ、マウスの右クリックと同様にメニューが出てきます。
- 2) 文字や絵などを手書きできます。ペンの上下を逆さにしてこすると「消しゴム」になります。
- 3) キーボードで入力する代わりに、文字を手書きし、テキストに変換させることもできます。（ただし「タッチキーボード機能」は、主に手書きの際は邪魔になることもあるので非表示にしておきます。）



* 以下は、すでに、ペンを利用できる状態の場合の手順です。まだ、ペンをパソコンとペアリングしていない場合は、P.4、2 のペアリングの手順を参考に設定してください。

1. 初期設定 はじめに行ってください

1 「ペンと Windows Ink」で初期設定します

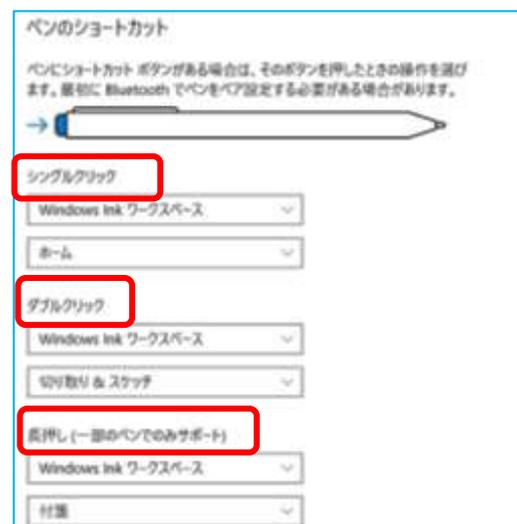
「スタートボタン 」> 「設定 」> 「デバイス」> 「ペンと Windows Ink」をクリックして設定画面を開き、以下を設定します。

- ① 「利き手を選択する」で右利き/左利きを選びます。
- ② 「 一部のデスクトップアプリでペンをマウスとして使用できるようにする」と、
- ③ 「 ペンの使用中はタッチ入力を無視する」に、チェックを入れます。
「視覚効果を表示する」「カーソルを表示する」は、チェックを外しておきます。

④ 「ペンのショートカット」を設定します。

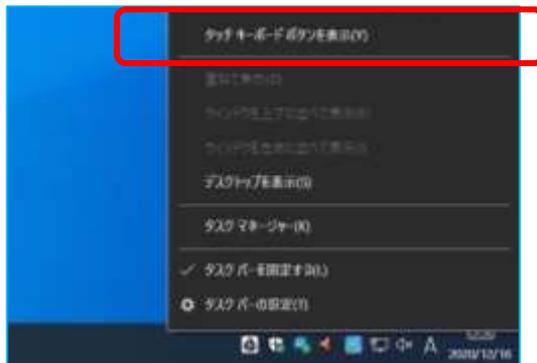
* ペンのトップボタンをクリックする回数等により、特定のアプリが開く、という機能です。

* 右図は初期設定です。
(利用したいアプリがある場合、適宜、変更してください。)



2 「タッチキーボード」を非表示に設定します

- ・タスクバー（画面最下部の黒い部分）を右クリック > 「タッチ キーボードボタンを表示」の頭に「✓」が入っている場合は、クリックして、チェックを外します。



- ・「タッチキーボード」は、文字を手書き入力したものを、テキストに変換する機能です。
- ・上記の手順で「✓」を入れると、「タッチキーボード」は表示され使用可能になります。

2. Office (PPT, Word, 等) で、ペンを使う手順

* Microsoft Office や、Whiteboard、付箋アプリを開くと、最初から手書きモードになっています。

1 文字・描画・マーカー等を手書きする場合：

画面上部のメニューにある「描画」をクリックすると以下が現れます。

- ① やりたいことに応じて、ペンの種類を選びます。
- ② ボタンの右下にある▽をクリックし、線の太さや色を選択します。



2 手書きを解除し、マウスと同様の機能に戻す場合：

(テキストや図を選択する、右クリック機能を使いたいとき)

画面上部のメニューにある「描画」をクリックします。

- ① 「描画」 > 「選択」の矢印ボタンをクリックします。

* 手書きモードが解除されます。以下のようにマウスと同様の機能に変わります。

- A) ペンをドラッグしてテキストを範囲選択できます。
- B) 図やファイルを選択できます。
- C) ペンを長く押すと、「」が現れ、右クリックメニューを表示できます。

3. PDF に、ペンで手描きする手順

* PDF データは、「Adobe Acrobat reader」または、「Foxit Reader」等、PDF 閲覧ソフトで開く設定になっています。ただ、そのソフトでは、ペンを使った精度の高い手描きは難しいです。

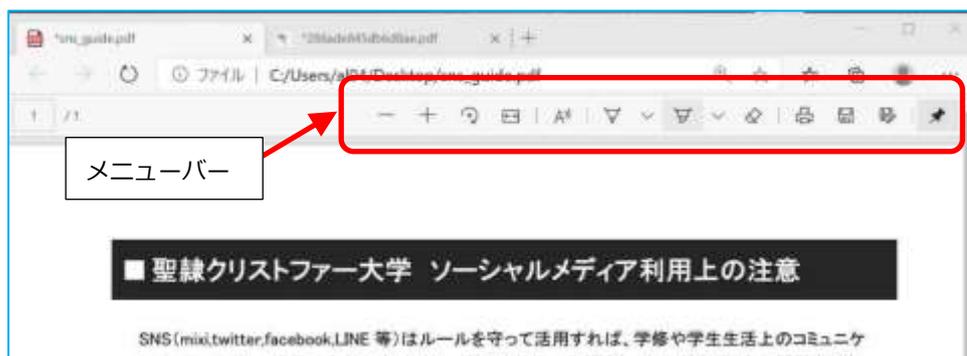
(上記ソフトで、キーボードを使ったテキスト入力はできます。)

* そこで、「Microsoft Edge」で PDF データを開いて、ペンで手描きする方法を示します。

1 「Microsoft Edge」で PDF データを開く：

① PDF のファイル名を、ペンで長押しして「」が現れ、右クリックメニューが出たら、「プログラムから開く」>「Microsoft Edge」をタップします。

「Microsoft Edge」が開き、PDF データが表示されます。



* 「Microsoft Edge」で pdf を開くと、手描きモードはオフになっています。

(ペンは、マウスと同様の機能になっています。)

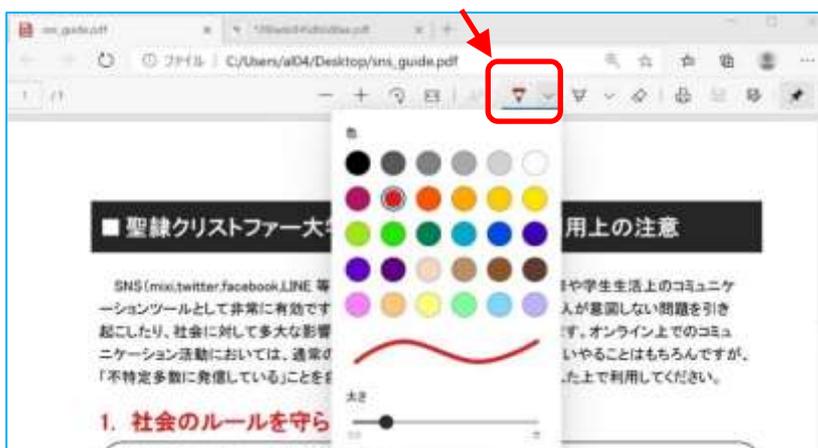
2 文字・描画・マーカー等を手描きする場合：

①メニューバーにある「ペン」や、「マーカー」のボタンをタップすると色が付いて、ペン機能がオンになります。

そして、右下にある▽をクリックし、線の色や太さを選択します。

②再度、「ペン」/「マーカー」のボタンをタップすると、ボタンの色が消え、ペンはオフになります。

(マウスと同様の機能に戻り、テキスト/図の選択、右クリック機能が使えるようになります。)

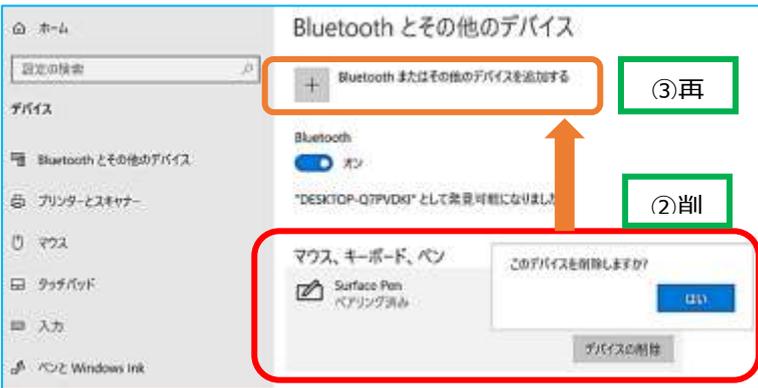


4. トラブルシューティング

* ペンの動作に不具合がみられる場合には、以下の手順を試してください。

参考 : [Surface ペンの使い方](#) (Microsoft 社リンク)

[Surface ペンのトラブルシューティング](#) (Microsoft 社リンク)

1	<p>ペンでインク機能を使用できない</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) トップボタンを点滅するまで長押しする。 <ul style="list-style-type: none"> > LED ライトが赤色点滅か点灯しない場合は、電池を交換します。 2) Windows Update を実施し最新の状態にする。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「Windows ボタン」 > 「設定」 > 「更新とセキュリティ」 をクリック。 ② 左側にある「Windows Update」 > 「更新プログラムのチェック」 をクリック。 3) Surface 診断ツールキット を実行する。
2	<p>ペンが反応しない</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Surface ペンをペアリングしなおす。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「スタートボタン」 > 「設定」 > 「デバイス」 > 「Bluetooth とその他のデバイス」 をクリック。 ② 「Surface Pen」 をクリック > 「デバイスの削除」 > 「はい」 をクリックで、デバイスが削除される。 ③ 「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」 > 「Bluetooth」 > ペンのトップボタンを 5~7 秒間押し続ける > 「Surface Pen」 を選択し、再接続できたらペアリング完了。 
3	<p>もっと弱い力でくっきりした線を描きたい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ペンの筆圧を変更します。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「スタートボタン (もしくは Windows キー)」 を押したのち、「surface」と入力。「Surface」アプリが表示されるので起動します。 ② 左のメニューから「ペンマークのアイコン」を選択します。 ③ 「スライダーをドラッグして筆圧を変更する」設定のスライダーを「右」の方に設定してみます。試し描きして適当な筆圧に設定します。

4 ペンの動作がおかしい（反応が遅い、トップボタンのショートカットが効かない、等）

1) 「ペンと Windows Ink」 の設定を確認する。

① P.1 の「1. 初期設定 はじめに行ってください」を再度設定する。

2) 「ペンの設定」を確認する。

① スタートボタン横の検索ボックスに「コントロールパネル」と入力 > 「Enter キー」を押します。

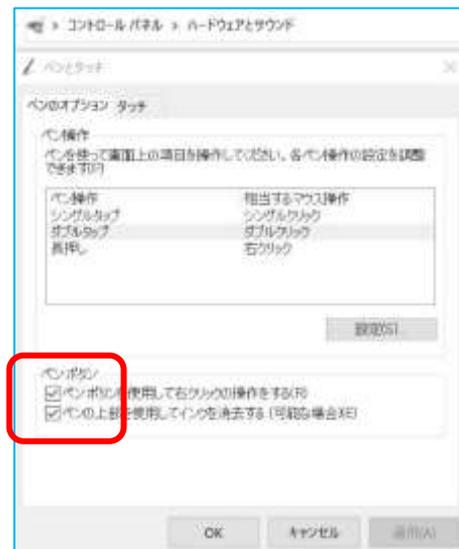


② 表示方法で「小さいアイコン」を選択 > 「ペンとタッチ」をクリック。



③ 右画面が出るので、「ペンのオプション」タブをクリックします。

a) 右図のとおり設定になっているか確認し、「ペンボタン」の2項目に、チェックが入っていなければ、を入れます。



b) 上図の「長押し」を選択 > 「設定」ボタンをクリックします。

・ペンを押してから右クリックモード「」になるまでの時間を短くしたい場合、スピードを「速い」方に設定 > OK > 適用、で確定します。

